

医療の安全に関する研究会

第7回研究大会

テーマ 医療機器を安全に使うために

日時 2002年11月30日(土) 10:00～17:30

場所 名城大学薬学部(八事キャンパス) 情報メディア教室ほか

JR名古屋駅から地下鉄東山線「伏見」乗換 地下鉄鶴舞線で「八事」下車、徒歩8分

参加費 一般 2,000円 学生 1,000円

医療にご興味のある方であれば、どなたでも自由に参加できます。

郵便振替(口座番号:008700 7-104540 名義:医療の安全に関する研究会)にて、

事前に参加費をお払い下さい。追って「参加証」をお送りいたします。当日参加も可能です。

プログラム

10:00～10:15 開会の挨拶 島田康弘理事長(名古屋大学大学院医学研究科・教授)

10:15～11:45 分科会報告とポスター発表(公募)

< 昼食(医療機器展示) >

12:30～13:00 大会長講演 酒井順哉(名城大学大学院都市情報学研究科・教授)

司会 池田卓也(医療法人 生長会・顧問)

「医療機関の医療事故防止体制の現状と今後の課題」

13:00～14:00 特別講演 秋山昌範(国立国際医療センター 内科/情報システム部長)

司会 島田康弘(名古屋大学大学院医学研究科・教授)

「EBM(根拠にもとづく医療)が病院を変える」

< 休憩(医療機器展示) >

14:30～17:30 シンポジウム「医療機器を安全に使うためのシステムとは」

司会: 加藤良夫(愛知大学法学部・教授)

1) 東京都が取り組む医療機器の安全対策

平井政己(東京都健康局食品医薬品安全部薬事監視課・課長補佐)

2) 医薬品誤投与防止のためのチェックシステム

土屋文人(東京医科歯科大学歯学部附属病院・薬剤部長)

3) 医療現場の安全をシステムでカバーするには

武澤 純(名古屋大学大学院医学研究科・教授)

4) 医療機器の安全管理に必要な臨床工学技士の役割

小野哲章(神奈川県立衛生短期大学・教授)

5) 医療機器をナースが安全に使うにはどうするか

齋藤悦子(藤田保健衛生大学看護専門学校・校長)

17:30～17:35 次期大会長挨拶 齋藤悦子

17:35～17:40 閉会の辞 大会長 酒井順哉

主催 医療の安全に関する研究会

〒481-0001 名古屋市東区泉1丁目1番35号

ハイエスト久屋6F センター気付

TEL:052-951-3931 FAX:052-951-3932